

組合に相談しよう
不払い相談、融資・税金相談、教育資金、サラ金、生活保護、社保未加入問題…
練馬支部 03-3825-5522

けんせつ北部

定価三十円

購読料は組合費に含まれています。

発行所
東京土建一般労働組合
城北ブロック会議
東京都豊島区西池袋5-22-15
板橋 (3963) 5325
練馬 (3825) 5522
豊島 (3986) 2471
北 (3902) 7121
発行人 代表者 川合 正人
発行日 1日、9日、17日、25日

若手が躍動！ベテランも奮闘！14チームが熱戦

分会対抗ソフトボール大会2023



開会式には参加14チームが勢揃い

「分会対抗ソフトボール大会2023」が7月2日、埼玉県和光市の和光スポーツアイランドで開催。当日は21分会224人の仲間が早朝から集まり、12分会の単独チームと、分会合同チーム、書記局の合計14チームが熱戦をくりひろげました。

分会テントが立ち並ぶ。歓声に後押しされて、若手が躍動。好プレーには敵味方なく大きな拍手が起りました。

ベテランの組合員からは「分会の若い仲間の活躍が頼もしい」、「これだけの若い組合員がいることに驚いた」といった声もあがりました。

大会に向けての参加者組織は5月からスタート。多くの分会で、拡大行動や群会議などを通じて若手からベテランまで幅広い仲間へ参加の呼びかけがおこなわれました。

今回新たに参加した3分会では、「支部最大事業所の参加で盛り上がった」（北事業所分会）、「何としても今年は何も出さず、若手をセレクトしてフルスイング」



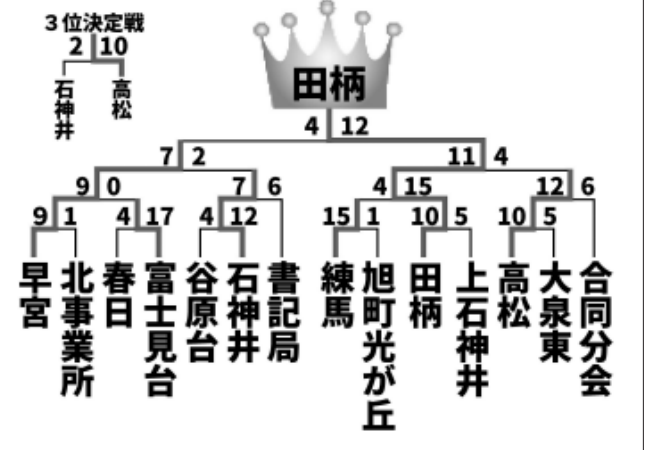
分会の仲間の声援を受けてフルスイング。若手をセレクトしてフルスイング

大会当日は、後継者対策部長を含む20人を超える分会キャプテンが運営がすすみました。

「2人の若手と一緒に注文して、必ず来すみました。参加した新加入者・初心者は「組合のメリツトがとてよくわかった。今後は組合のいろいろな制度を利用して、できるかぎりの活動に参加していきたい」（春日）、「今後いろいろなイベントに参加してみたい」（学園）、「組合の必要性を感じた」（上石神井）、「コミュニティに入っていくのは苦手だけど、少しずつ慣れていきたい」（早雲）、「何かあれば頼りたい」と思った」（新豊玉）など、組合活動への参加の意欲に満ちあふれる説明会になりました。



表彰式では若い仲間が受賞スピーチ



「に集めて選手組織の作戦会議を行った」（谷原台分会）、「若年層の仲間2人を拡大して分会出場を実現」（高松分会）など、意欲的な取り組みがすすみました。

にあたり、大会を成功に導きました。当日の動画は、YouTubeチャンネル「東京土建練馬支部」で視聴できます。



新加入者・組合初心者31人が参加

「知らんけど！組合ガチ説明会」

加入1年未満の新加入者や組合初心者には組合の諸制度や組合活動の意義と目的を伝え、分会への結果と定着を目的に取りくんだ「組合ガチ説明会」。6月26日の統一開催を中心に19分会で新加入者12人と組合初心者19人のあわせて31人が参加、伝える側の分会・群役員を含め146人の仲間が各分会で交流を深めた。

「組合ガチ説明会」では、後継者対策部で議論を重ねて完成させたテキストを後継者対策部長が読み上げ、その姿に分会役員からは「読み上げがスムーズでとてもわかりやすかった」との声が上がりました。

20代の新加入者2人が初めて参加した高松分会。分会後継者対策部長



石神井分会の説明会

また、日曜の昼間開催で「お弁当

「ねほ大根」が国交省から公表された。技能・CCUS

経験に応じた賃金支払について目指すべき具体的なイメージを業界全体で共有し、賃上げの促進につなげることを目的だ。この間、建設技能者の処遇改善に向けた議論が急ピッチですすんでいる。労務費を原資とする価格競争を制限し、労務費が下まで行き渡るための制度上の対応について、現在、国交省の中央建設業審議会と社会資本整備審議会合同の基本問題小委員会などで、全建総連も加わって検討されている。高度経済成長期から建設業は労務費を原資とした低価格競争に明け暮れてきた。材工一式で労務費を見えなくし、競争のしわ寄せが現場で働く技能者に押し付けられてきた。労務費を原資とする低価格競争の制限は、この構造を根本から改めようとする試みだ。労務費の見える化と下まで行き渡らせる試みは、材工一式から材工分離、価格競争から施工能力の競争へと建設産業を変えていく。技能者の処遇改善と担い手確保は待ったなしだ。今後の議論の進展を注視していきたい（文）

ねほ大根

CCUS

におけるベル別年収(32職種)

が国交省から公表された。技能・

公契約条例の実現、建設業の担い手確保に向けたルールづくりを進めよう

「練馬建設協議会」結成10周年記念行事

東京土建練馬支部と建設ユニオン練馬支部の共同組織「練馬建設協議会」の結成10周年記念行事が6月14日、練馬区産業プラザ・ココネリホールで開催。来賓と両組合あわせて67人が参加しました。

「練馬建設協議会」は、2013年5月15日、2つの区内建設労働組合が共同することで、区内の建設業界を「人が育つ、明るい建設産業にしていく」との趣旨のもとに結成。以来、両組合の賃金アンケートを集約した「練馬建設労働白書」を毎年発行し、区議



ついであいさつする毛塚区長室長



第一部の記念講演会

会派との予算要望懇談や区長室長との懇談、区内の現場訪問行動や建設事業者との懇談、都議会議員への建設国保都費補助賛同署名要請をおこなってきました。

こうした運動の積み重ねで迎えた10周年記念行事には、毛塚久区長室長（区長代理）をはじめ、山岸一生衆議院議員、練馬区選出の村松一希都議、練馬区議会会派（4人派10人）、練馬区ビル

会派10人）、練馬区ビルダークラブ会長らが来賓として臨席しました。記念行事の第一部では、全建総連賃金対策部長の長谷部康幸さんと連合東京政策局長の上下俊之さんが講演。長谷部さんは「建設業の担い手確保に向けたルール作りを進めよう」と題して、建設技能者の処遇改善に向けた国と業界の直近の具体的な動きを紹介。上下さんは「都内自治体公契約条例の制定状況と今後

の展望」と題して、公共工事を含む公共サービスの品質確保、現場従事者の賃金を下支えし、地域経済の好循環をめざす公契約条例を練馬区でも実現しようと呼びかけました。

第二部の記念祝賀会では、練馬区から毛塚区長室長（区長代理）と山岸一生衆議院議員が来賓あいさつ。毛塚区長室長は、「10周年の記念誌の

は、2013年5月15日、2つの区内建設労働組合が共同することで、区内の建設業界を「人が育つ、明るい建設産業にしていく」との趣旨のもとに結成。以来、両組合の賃金アンケートを集約した「練馬建設労働白書」を毎年発行し、区議

会派との予算要望懇談や区長室長との懇談、区内の現場訪問行動や建設事業者との懇談、都議会議員への建設国保都費補助賛同署名要請をおこなってきました。

こうした運動の積み重ねで迎えた10周年記念行事には、毛塚久区長室長（区長代理）をはじめ、山岸一生衆議院議員、練馬区選出の村松一希都議、練馬区議会会派（4人派10人）、練馬区ビル

の展望」と題して、公共工事を含む公共サービスの品質確保、現場従事者の賃金を下支えし、地域経済の好循環をめざす公契約条例を練馬区でも実現しようと呼びかけました。

第二部の記念祝賀会では、練馬区から毛塚区長室長（区長代理）と山岸一生衆議院議員が来賓あいさつ。毛塚区長室長は、「10周年の記念誌の

住宅相談WEEK終了後も、支部には修繕等の依頼がひきつづき寄せられています。なかには、チラシが配布されたお宅



分会センターで区民からの住宅相談に対応する旭町光丘分会の仲間

7月9日の住宅相談WEEKの数日前のこと。分会センター近くのSさん宅の隣で新築工事が行われ、足場も取り払われ完成間近でした。そんな時に屋根工事の職人と称する者がSさん宅を訪れ、「隣の新興現場の屋根工事を担当した者だが、お宅の瓦がずれているのが見えた。至急修理が必要だ」と言われまし

た。屋根のことなので登って確かめることもできず、近くに建築関係の土建の事務所（分会センター）があるので、そこに相談しようとなりまして、隣の新興現場の屋根工事を担当した者だが、お宅の瓦がずれているのが見えた。至急修理が必要だ」と言われまし

た。屋根のことなので登って確かめることもできず、近くに建築関係の土建の事務所（分会センター）があるので、そこに相談しようとなりまして、隣の新興現場の屋根工事を担当した者だが、お宅の瓦がずれているのが見えた。至急修理が必要だ」と言われまし

7月9日(日)の午前中、全分会で区民からの住宅相談を受け付けた「住宅相談WEEK」。今年支部での事前受付を含めて13件の相談と当日までの相談件数は多くはありませんでしたが、寄せられた相談には分会が現調をはじめ迅速にねいな対応をすすめています。また、今年、電話受付の待機時間に「包丁研ぎの講習」（上石神井分会）が行なわれるなど、秋の住宅デーに向けた準備もすすめられました。

「悪徳点検商法の被害を未然に防ぐ」

悪徳点検商法の被害を未然に防ぐ

悪徳点検商法の被害を未然に防ぐ

悪徳点検商法の被害を未然に防ぐ

悪徳点検商法の被害を未然に防ぐ

悪徳点検商法の被害を未然に防ぐ

悪徳点検商法の被害を未然に防ぐ

悪徳点検商法の被害を未然に防ぐ

悪徳点検商法の被害を未然に防ぐ

悪徳点検商法の被害を未然に防ぐ

悪徳点検商法の被害を未然に防ぐ

悪徳点検商法の被害を未然に防ぐ

悪徳点検商法の被害を未然に防ぐ

悪徳点検商法の被害を未然に防ぐ

悪徳点検商法の被害を未然に防ぐ

悪徳点検商法の被害を未然に防ぐ

悪徳点検商法の被害を未然に防ぐ

悪徳点検商法の被害を未然に防ぐ

悪徳点検商法の被害を未然に防ぐ

悪徳点検商法の被害を未然に防ぐ

悪徳点検商法の被害を未然に防ぐ

悪徳点検商法の被害を未然に防ぐ

悪徳点検商法の被害を未然に防ぐ

2023年練馬支部の安全標語

手を抜くな！ その一言が 身を守る

2023年度練馬支部の安全標語が、6月22日の労働対策部会で「手を抜くな！その一言が身を守る」に決まりました。この安全標語のもと、今年も労働安全衛生活動に取り組んでいきます。

家族と一緒に参加しよう

支部「憲法フェスタ2023」7月30日に開催

今年も、平和と憲法を考える「憲法フェスタ」を開催します。多くの組合員・家族の参加をお待ちしています。

日時 7月30日(日)10:00~15:30 **会場** 練馬支部会館(全館)

企画 ◆パネル展…原爆写真パネル(広島・長崎、ビキニ・第五福竜丸)、東京大空襲等

◆舞台企画(スケジュールは予定)

10:05~11:05

有原誠治監督のドキュメンタリー映画上映と講演

「声を上げる高校生たち~核兵器禁止条約に署名・批准を~」

※監督は練馬地域の平和運動に深く関わり、練馬地域の映像も使用されています。また、挿入歌は三角真弓さん(高松分会)が歌っています。

11:10~12:00

合唱団コスモスによるコーラス劇「憲法の授業」(50分)

12:00~13:00

休憩 記録映像「練馬支部憲法平和対策部の活動」上映

笹川勝雄さん(高松分会)作成(20分)

13:00~13:40

「どうする?『あんぼ3文書』」組合員による模擬裁判劇

野津俊夫さん(新豊玉分会)制作(35分)

13:50~15:30

歌の広場 組合員と地域グループも参加する歌声交流

◆参加型企画…組合員や来場者参加型の企画として

・タイルアート「日本国憲法前文」。参加者に文字を記入いただきパネルを作成。

・平和への願いメッセージ記入、安保3文書シール投票など

◆会館デコレーション・展示

・日本国憲法全文、折り鶴、私たちの生活や平和を考える様々な掲示

・戦時中の写真や資料、体験談・平和俳句(川柳)などの募集、

・練馬区の非核都市宣言掲示パネル

保険証の存続と現行補助水準の確保、インボイス制度の見直し・延期を



7・7 予算要求対都行動・生活危機突破中央総決起大会

7月7日、全建総連主 音楽堂で開催。「建設国保の育成・強化、賃金・物価高騰から支那からも39人が参加しました。インボイス制度の導入を「許すな!インボイス」の声をさらに大きく

「許すな!インボイス」の声をさらに大きく

インボイス導入中止を求める意見書

練馬区も直ちに採択を

自治体から国へ「インボイス導入阻止を求め

中小零細業者に新たな負担増となるインボイス制度の見直しと導入の延期を強く求めました。また、決起集会に先立ち午前中には、予算要求対都要請行動が行われ、練馬支部は福岡委員長が財務局、三角副委員長が福祉保健局、上原副委員長が共産党都議団への要請行動に参加しました。また、7月は、厚労省へのハガキ要請行動とともに、組織人員の5倍を目標に「国保組合の育成・強化、保険証交付の存続を求める要請署名」に各分会がとりくましました。

6月の支部学習会に59人の仲間が参加 反対署名も72筆集まる



6月13日の事業所向け学習会(昼の部)

6月13日の事業所対象のインボイス学習会に22人、6月21日の下請け・免税事業者対象のインボイス学習会には37人がそれぞれ参加しました(昼方法や登録後の負担解消

桜台分会が2回目の分会学習会

桜台分会は7月1日、のインボイス学習会を開



中心に呼びかけ、近隣分会からの参加を含む13人が集まりました。学習では分会紙(「みちくさ」4月号)で特集した「迫るインボイス取るべき対応は」の記事にそったテ

1マで、講師の武田分会税対部長が自身の経験を織り交ぜながら学習を深めました。

も報告されました。

にむけた対応点を共有しました。一般課税事業者対象の学習会では、インボイスを受け取る際の注意点など、導入後の対応に関心が寄せられたほか、「元請けはインボイスを強制しないと云っているにもかかわらず、中間業者が下請けに一律に登録を働きかけて困っている」と現場の混乱する様子



まずはグループで編集会議



分会の仲間2人で編集作業



ベテラン教宣部長が丁寧に援助

教宣部長と初参加者が協力して紙面づくりに挑戦

第46回教宣小学校

第46回教宣小学校を6月18日、練馬支部会館で開催。分会紙未発行分会での新たな発行と、発行分会での複数の編集体制の確立をめざし、分会紙未発行分会4分会を含む24分会から52人(うち分会教宣部長15人)が参加しました。

はじめに向井光也さん(日本年金者組合「年金者しんぶん」編集長、元東京土建本部けんせつ編集長)が「仲間の話題になり、つながりを強める分会新聞をつくらう」と題して講演。組合機関紙の役割・目的を強調したうえで、見出しのつけ

方など仲間を読まれる分会紙づくりのポイントを具体的に解説しました。講義を受けて、午後は12のグループに分かれて新聞づくりの実習。用意した記事と写真などを使ってのレイアウトと記事の見出しつけ、仲間の紹介記事づくりなど、4人のムチの講評をいただきました。

2時間余をかけて出来上がった12紙の新聞を合本にして、みんなで出来栄を確認。向井さんからは、顔写真の配置などについて、きびしい愛たので、わりとサクサクつくることができました。

参加者からは、「普段は一緒に作ることはない他分会の編集者と紙面づくりができて楽しかった。想が寄せられています。」

一組のグループでは新聞づくりの入門で、ベテランにとってはさらに実力を上げる実り豊かな教宣小学校となりました。

講師のお話で、新聞づくりにはいろいろなルールがあることも初めて知りました。記事から自分でつくることになるとはいへませんが、今度のソフトホール大会の様子を新聞に出せたらいいなと思いました」といった感想が寄せられています。



はじめての参加者も真剣に取り組みました



パソコンを使った編集作業も

東京建築カレッジが施設移転の候補地を探しています よい情報があればお知らせください

東京土建が設立した東京建築カレッジは、厚生労働省所管、東京都認定の短期大学校です。組合の若い仲間が働きながら木造建築の技と知恵を、実技実習を重視した教育プログラムで学んでいます。現在のカレッジ施設の土地の賃貸借契約期間満了に伴う施設移転が計画されて数年が経過していますが、移転先にふさわしい土地が見つからない状況が続いています。移転先の土地に関する良い情報がありましたら組合事務所までお寄せください。

- ①一括移転の場合の物件条件
 - 【土地】1600㎡、延床2700㎡
 - 【地域】新宿駅から電車所要時間で45分程度圏内／駅から現地まで徒歩15分程度圏内
 - 【予算】6億円
- ②実習棟のみ等一部移転の場合の物件条件
 - 【土地】670～1000㎡、【地域】技術研修センター(池袋)を中心に20～30分の所要時間の地域
 - 【予算】3億～4億円

春の共済推進活動

どけん火災共済は本部目標を超過達成

春の共済推進期間の成実は、火災共済67件、地震共済15件でした。火災共済は、本部目標の65件に対して超過2件で達成しました。地震共済は、全都一番の加入件数でした。

加入者の平均年齢が43・6歳と8歳若返ったのが特徴です。各分会の奮闘、本当にお疲れさまでした。

加入者の平均年齢が43・6歳と8歳若返ったのが特徴です。各分会の奮闘、本当にお疲れさまでした。

前回は、過去の周年行事の歴史や経験を振り返ったうえで、65周年に向けて①フェスタ(お祭り形式)、②記念式典&企画立案を行う企画委員会(分会から委員1人選出)の第1回会議が6月28日に開催されました。

練馬支部は来年9月6日に結成65周年を迎えます。65周年の記念行事の企画立案を行う企画委員会(分会から委員1人選出)の第1回会議が6月28日に開催されました。

相続相談会中止のお知らせ

6月より開始した相続相談会は、担当の税理士さんの病氣療養のため、7月以降の相談会は中止とさせていただきます。今後、相続に関する相談は支部の法律相談で対応します。